

平成 28 年度医療需給調査の実施について

1 医療需給調査の目的

現行の兵庫県保健医療計画は、平成 30 年 3 月に 5 年の改定期限を迎えることから、28 年度及び 29 年度の 2 カ年で見直しを行います。

見直しにあたっては、医療需給調査を実施し、患者の受療の状況（医療需要）、医療機関の人員・設備及び医療提供の状況（医療供給）を把握して、全県及び 2 次保健医療圏域ごとに、計画改定の議論に必要な基礎データを得ることとしています。

2 医療需給調査の概要

(1) 調査実施時期

兵庫県医師会と協議の上決定（2 月下旬を予定）

(2) 調査対象期間

① 特定日の状況を答える項目：平成 28 年 12 月 1 日時点

② 1 年間の状況を答える項目：平成 27 年度の 1 年間

(3) 調査内容（直近の実施内容）

	医療需給調査	
	患者調査（需要）	医療施設実態調査（供給）
ア 調査対象	県内の全病院・全有床診療所	県内の全病院
イ 直近の実施時期	H27. 3. 3	H23. 10. 4
ウ 直近の調査項目	すべての入院患者の ①性別、②年齢、③居住市町、 ④疾病名、⑤診療科 ※調査票（H27 入院患者調査） を参照	別紙「平成 23 年度医療施設実態調査項目一覧（実績）」のとおり ※調査票（H23 医療施設実態調査） を参照

3 調査実施にあたって審議いただきたいこと

- ・次期保健医療計画の改定指針（厚労省で検討中ですが、中間とりまとめを添付しています）に鑑みて、調査項目の追加や見直しが必要か
- ・前回調査以降の法令改正、診療報酬改定等を反映して、調査項目の追加や見直しが必要か
- ・同種の調査事業（病床機能報告等）との項目重複や、回答する医療機関の負担に鑑みて、調査項目の削除や見直しが必要か

4 参考

計画記載の施策の各担当部局課室や圏域に事前照会し、回答のあった意見を添付しています。

平成23年度医療施設実態調査項目一覧（実績）

調査項目	
1 基本的事項	
【病棟・医療設備・検査】	
	病棟・医療設備の整備状況
Q1	(1) 緩和ケア、回復期リハビリテーション病棟(病床数)
	(2) 医療設備(病床数等): 手術室、ICU、SCU、CCU、広範囲熱傷特定集中治療室、無菌治療室、放射線治療病室、陰圧病床
Q2	実施検査内容と24時間対応の可否: 内視鏡検査(上部消化管、気管支、大腸)、超音波検査(腹部、心臓・大血管、頸部、頭部他)、血管連続撮影(腹部、心臓・大血管、脳血管)、X線透視検査、CT、MRI、MRA、SPECT、PET、核医学検査(SPECT、PET以外)
【外科手術体制】	
Q3	外科手術に関する専門スタッフ数/外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、病理診断科、看護師、臨床工学技士他(常勤・非常勤別)
Q4	緊急手術対応の可否/年間件数・時間外症例数
Q5	フリーランスの麻酔医による手術対応の有無
Q6	手術時の麻酔科以外の医師による麻酔対応の有無
Q7	(1) 病理診断に関するスタッフ(医師)数(常勤・非常勤別) (2) 組織診断、細胞診、術中迅速診断、免疫組織化学的検査(標本作成・診断・判定別、院内・外別)/年間症例数
【リハビリテーション体制】	
Q8	リハビリテーション科設置状況(診療報酬上承認を得ているもの): 運動器、呼吸器、難病患者、障害児、脳血管疾患等、心大血管疾患リハビリテーション、集団コミュニケーション療法

Q9 リハビリテーション専門スタッフ数：
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士他（専任・兼任別、常勤・非常勤別）

2 地域における医療連携

- Q1 (1) 地域医療連携室設置の有無
(2) 地域医療連携等の専門スタッフ数：
医師、看護師、MSW、その他専門職（専従又は専任、兼任）
- Q2 開業医への共同利用機器開放状況：MRI、CT、RI診断装置他
- Q3 施設・設備等の共同利用状況：
検査設備、外来診療設備、入院診療設備、手術設備他
- Q4 (1) 地域連携クリティカルパスの使用状況（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、大腿骨頸部骨折、その他）
(2) 他の医療機関との診療情報・治療計画の共有状況：
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患、その他
(3) 他の医療機関との共同による症例検討会や勉強会の開催状況：
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患、その他
- 病病連携、病診連携の実施状況
（検査、手術、専門診療、手術・専門診療後等の外来治療、同じく在宅医療依頼の別）
- Q5 (1) 病病連携（紹介を受ける側の場合の実施する連携内容）
(2) 病病連携（紹介する場合の依頼する連携内容）
(3) 病診連携

3 患者に対する情報提供

- Q1 インフォームド・コンセントの実施状況
- Q2 院内クリティカルパス導入の有無／医療者用・患者用別パス数

4 5疾病5事業の診療機能

4-1 がん

- Q1 専門的技術・知識を有するスタッフ数（常勤スタッフの種類別）
- Q2 禁煙外来実施の有無

Q3 (1) 受動喫煙防止対策実施状況(敷地内禁煙・建物内禁煙、完全分煙、喫煙コーナーの設置)

(2) 建物内禁煙実施状況(敷地内禁煙の実施予定の有無)

(3) 完全分煙実施状況(敷地内禁煙の実施予定の有無)

	がん検診の実施状況(実施の有無/検査項目)
Q4	(1) 胃がん(実施の有無/検査項目:胃X線、内視鏡、ペプシノゲン他)
	(2) 肺がん(実施の有無/検査項目:胸部X線、喀痰細胞診、胸部CT他)
	(3) 大腸がん(実施の有無/検査項目:便潜血、全大腸内視鏡、注腸X線他)
	(4) 乳がん(実施の有無/検査項目:マンモグラフィ、視触診、乳房超音波他)
	(5) 子宮(頸部)がん(実施の有無/検査項目:細胞診他)
Q5	マンモグラフィ設置病院の機器型式(据置・車載型、台数)
Q6	放射線治療実施の有無/種類(リニアック、ガンマナイフ、小線源治療装置他)別台数、年間実施件数
	化学療法実施状況
Q7	(1) 化学療法室設置の有無/病床数、年間治療件数、診療報酬上の承認状況
	(2) レジメン(治療内容)の審査委員会設置の有無
Q8	薬物療法についての横断的実施の有無(診療科・チーム別)
Q9	複数診療科に関わるカンファレンスの実施の有無/対象疾患
	緩和ケア対応状況
Q10	(1) 緩和ケアチームの有無/診療報酬上の承認状況、参加者(職種別、専従・専任・兼任別)
	(2) 緩和ケア外来設置の有無
	(3) 精神症状の緩和への対応の有無/対応者(医師・看護師・心理職他別)
	年間診療連携実績
Q11	(1) 専門的検査(ヘリカルCT・MRI・SPECT・PET他)引き受け実績の有無
	(2) 専門的診療受け入れ実績の有無
	(3) 手術受け入れ実績の有無
	(4) 化学的治療受け入れ実績の有無
	(5) 放射線治療受け入れ実績の有無
	(6) その他紹介を受けた実績の有無/紹介内容
Q12	年間入院患者延べ数、新規入院患者数
Q13	(1) 院内がん登録実施の有無(入院患者別)
	(2) 院内がん登録実施の有無(外来患者別)

Q14	地域がん登録への情報提供の有無
	石綿関連疾患の対応状況
Q15	(1) 検査実施の可否／検査項目
	(2) 治療対応の可否／年間治療件数
Q16	専門分野の対応状況： 対象疾患別、診療内容別(手術、化学療法、放射線療法、集学的治療、セカンドオピニオンへの対応他)
4-2 脳卒中	
	専門的技術・知識を有するスタッフ状況
Q1	(1) スタッフ種類(神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科)別、常勤・非常勤別人数
	(2) 常勤のうちの専門医数： 脳神経外科、脳卒中学会、脳血管内治療、神経内科、リハビリテーション科
Q2	専門的治療の対応の可否／対応可能時間： t-PA、血管内再開通療法、急性期脳卒中内科治療(抗血小板療法・抗凝固療法等)、頸動脈内膜剥離術、ステントによる血管形成術、動脈瘤クリッピング、コイル塞栓術、低体温療法
Q3	外科的治療又は血管内治療実施の有無／来院後2時間以内の対応の可否
Q4	リハビリテーション実施の有無(急性期、回復期、維持期)／訓練室の有無
Q5	リハビリテーションに関する専門スタッフ数： 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等(専任・兼務別、常勤・非常勤別)
	地域連携の実施状況
Q6	(1) 地域連携体制の状況、連携している医療機関数とそのうち圏域外の医療機関数
	(2) 地域連携診療計画管理料の算定実績(患者数)
Q7	脳卒中による年間(平成22年4月1日～平成23年3月31日)入院患者のべ数及び新規入院患者数
	年間診療連携実績
	(1) 専門的検査引き受け実績の有無
	(2) 専門的診療受け入れ実績の有無

Q8 (3) 手術受け入れ実績の有無

(4) リハビリテーション受け入れ、依頼実績の有無

(5) 診療所への逆紹介実績の有無、実施した診療所数

(6) その他紹介を受けた実績の有無／紹介内容

4-3 急性心筋梗塞

Q1	専門的技術・知識を有するスタッフ数(スタッフ種類(循環器内科、循環器外科、リハビリテーション科)別、常勤・非常勤別)
Q2	専門的検査及び処置対応の可否／対応可能時間： 心電図検査、血液生化学検査、CT検査、心臓カテーテル検査(冠動脈造影検査)、大動脈内バルーンパンピング(IABP)、経皮的心肺補助装置(PCPS)、緊急ペーシング、ペースメーカー不全への対応他
Q3	冠動脈バイパス術実施の有無／ポンプ症例、非ポンプ症例別年間件数
Q4	インターベンション実施の有無／年間件数： 経皮的血栓溶解療法、経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術、高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル
Q5	心臓リハビリテーション(運動療法、食事療法等)実施の有無／訓練室の有無
Q6	心疾患患者のリハビリテーションに関する専門スタッフ数： 理学療法士、作業療法士、言語療法士等
	診療連携の実施状況
	(1) 専門的検査を引き受けた実績の有無
	(2) 専門的診療の受け入れ実績の有無
Q7	(3) 手術の受け入れ実績の有無
	(4) 心臓リハビリテーションの受け入れ、依頼実績の有無
	(5) 診療所への逆紹介実績の有無／逆紹介した診療所数
	(6) その他紹介を受けた実績の有無

4-4 糖尿病

Q1	糖尿病専門スタッフ数(糖尿病専門医、内分泌代謝科専門医、糖尿病認定看護師)
Q2	糖尿病療養指導士の有無／職種別(看護師、管理栄養士、薬剤師他)常勤・非常勤数
Q3	専門・特殊外来設置の有無
Q4	糖尿病学会認定教育施設の確認
Q5	専門職種の子チーム指導による糖尿病教育入院実施の有無

診断や状況評価に必要な検査、専門的治療等対応の可否：
Q6 75gOGTT検査、運動療法、食事療法、糖尿病患者の妊娠例への対応、糖尿病昏睡等急性合併症患者の治療、急性合併症患者の24時間受け入れ、低血糖時及びシックデイの対応、1型糖尿病への対応、小児への対応

糖尿病の慢性合併症に対する検査・治療実施の有無：
Q7 蛍光眼底造影検査、光凝固療法、硝子体出血・網膜剥離の手術、腎生検、腎臓超音波検査、神経伝導速度検査、血管造影(アンギオ)検査、血管バイパスの手術、壊疽・潰瘍の手術・内科的治療、フットケア外来

年間診療連携実績

(1) 専門的検査引き受け実績の有無

(2) 教育入院(各専門職種チームによる食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた集中的な治療)受け入れ実績の有無

Q8 (3) 患者の妊娠例への対応例実績の有無

(4) 合併症患者の専門診療受け入れ実績の有無

(5) 診療所への逆紹介実績の有無／逆紹介した診療所数

(6) 歯科診療所紹介実績の有無

(7) その他紹介を受けた実績の有無／紹介内容

人工透析の実施状況

(1) 人工透析実施の有無／実施種別(血液透析・腹膜透析別、慢性・緊急別)、平常時1日最大可能人数

Q9 (2) 人工透析装置の保有台数、人工透析用ベッドの整備数

(3) 診療時間外(夜間・休日)の透析対応の可否

(4) 災害時の透析対応協力機関としての診療可否／患者1日最大受入可能人数

4-5 精神疾患

Q1 専門スタッフ数(精神科医(精神保健指定・非指定医)、内科医他)

Q2 専門医数／常勤・非常勤別

Q3 リハビリテーション専門スタッフ数(精神保健福祉士、作業療法士、心理士他)／常勤・非常勤別

精神疾患の対応状況

Q4 (1) 診断及び治療内容(統合失調症、認知症、アルコール依存症、うつ症、気分障害他)

(2) 診断、治療を実施している診療科(小児科、精神科、神経内科、心療内科、内科他)

(3) 他の医療機関との連携実績の有無、連携先(一般病院、精神科病院、診療所他)

Q5 (1) 発達障害の診断・治療等の有無、治療・発達支援の内容(服薬、相談・カウンセリング・療育・訓練・療育訓練施設紹介、家族への教育他

(2) 診断、治療、発達支援を実施している診療科(小児科、精神科、神経内科、心療内科、内科他)

(3) 他の医療機関等との連携実績の有無、連携先(病院・診療所、発達障害支援センター・ブランチ、保健所・保健センター、こども家庭センター、特別支援学校他)

Q6 専門・特殊外来設置の有無、年間総受診者数(設置内容別:認知症、もの忘れ、)児童思春期、睡眠他

Q7 他の医療機関からの時間外診療依頼対応の可否、年間診療人数・入院数

Q8 身体合併症患者への院内外対応の有無、連携先(一般病院、精神科病院、診療所他)

4-6 災害医療

- (1) 防災マニュアル策定の有無／策定年月、直近改定年月
- Q1 (2) 災害時に備えた訓練・研修実施の有無／年間実施回数、直近の実施状況、参加者数、参加スタッフ種類別
- (3) 院外(県・市町等)で実施されている訓練等への参加の有無
- Q2 災害対応資材の確保状況(医薬品・医療材料・食料・応急ベッド別)
災害時の救護班の派遣体制について
- (1) 災害発生時の救護班派遣の可否、派遣可能なチーム数(医療救護班、DMAT)
- Q3 (2) 院内防災マニュアルにおける救護班派遣等規定の有無
- (3) 災害時救護班派遣車両の有無／種別(ドクターカー又は病院救急車、その他病院車両、消防機関車両の使用、レンタカー他)
- (4) 救護班を迅速に派遣するための打ち合わせ・連絡網確認実施の有無
- (1) 衛星電話回線の整備の有無
- Q4 (2) 災害時優先電話の整備の有無
- 災害時の医療に要する水の確保対策の実施状況
- Q5 (1) 井戸水の利用の有無(飲用等、トイレ空調冷却、散水等)
- (2) 貯水槽設置の有無／1日の使用容量
- Q6 自家発電機設置の有無、設置場所、冷却方式(水冷、ラジエーター、空冷式他)
- (1) 県広域災害・救急医療情報システムの認知の可否
- Q7 (2) 県広域災害・救急医療情報システム設置の有無
- (3) 災害時に起動する緊急・災害情報の入力内容についての意思決定者及びシステム入力者(院長・医師・看護師・事務員他別)

4-7 救急医療

救急医療への対応状況

Q1	(1) 救急対応の可否(精神科救急以外)(1次、2次、3次別) (2) 年間救急搬送受入患者数/うち入院患者数、うち他病院への転送患者数 脳卒中、急性心筋梗塞、消化管出血、急性腹症、外傷、妊婦、小児他
Q2	ドクターカー運用、ピックアップ方式の有無/年間運行件数、対応時間、運転者(専任運転員・事務員他別)
Q3	2次救急輪番参加病院について (1) 当番日の人員体制(スタッフ種類別、常勤・非常勤別、昼間・夜間別) (2) 当番日以外の救急患者受け入れの有無
Q4	兵庫県広域災害・救急医療情報システムについて (1) システムの個別搬送要請について認識の有無 (2) 消防機関から個別搬送要請があった場合の応答意思決定者及びシステム入力者(院長・医師・看護師・事務員他別)
Q5	(1) 病院前救護におけるメディカルコントロールについて認識の有無 (2) メディカルコントロールの関係項目/指示・助言、事後検証、再教育(病院実習含む)メディカルコントロール協議会委員他
4-8 へき地医療	
Q1	(1) へき地診療の支援として行った代診医派遣年間要請日数・派遣日数 (2) 派遣要請があったものの派遣できなかったことの有無、理由
4-9 周産期医療	
Q1	産科、産婦人科、小児科、新生児科に関する専門スタッフ数(スタッフ種類(医師、看護師、助産師)別、常勤・非常勤別)
Q2	24時間対応の可否(産科(産婦人科)、小児科(新生児科)別)
Q3	他の医療機関との連携状況: 連携の有無/産科(産婦人科)及び新生児科(小児科)における年間搬送及び搬送受入人数
Q4	MFICU・NICU等の状況: 病床数、後方病室病床数、年間延べ利用日数、平均入院期間、最大入院期間、病床利用率、年間利用実人員

Q5 NICUにおける年間長期入院患者数(期間、原因疾患別)

Q6 母体・新生児搬送に利用可能なドクターカー保有の有無／保有台数、年間搬送件数

Q7 年間新生児搬送件数(迎え、三角、戻り別)

出産対応状況

Q8 (1) 分娩の年間取り扱い件数

(2) 帝王切開の年間取り扱い件数

(3) 出生児の年間取り扱い件数(体重別)

Q9 新生児疾患における緊急手術の対応／疾患別、実施状況

Q10 当直体制／産科当直医、NICU専任当直医の有無(1名、2名、いない)

4-10 小児救急を含む小児医療

Q1 小児科医師数(常勤・非常勤別)

Q2 救急当番時間帯における年間小児救急患者数(うち入院患者数、救急搬送患者数)

Q3 小児科一般病床及び小児入院医療管理料(I～V)の算定病床数

Q4 2次輪番参加の有無

Q5 2次輪番参加病院当番日の夜間の人員体制(スタッフ種類別、常勤・非常勤別、夜間・オンコール別)

5 その他

5-1 在宅医療

Q1 在宅医療の実施状況：
実施の有無／訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、急変時の入院受け入れ、診療所医師の支援他

在宅ケア、緩和ケアに係る相談支援等の実施状況

Q2 (1) 相談支援・情報提供実施の有無

(2) 相談支援等に関する専門スタッフの人数(種類(医師、看護師、退院調整看護師他)別、専任・兼任別)

Q3 在宅療養患者の緊急入院対応の有無／常時病床(空床)確保の有無(病床確保数、年間入院患者受け入れ数)

在宅療養支援診療所との連携状況

Q4 (1) 在宅療養支援診療所の連携保健医療機関の有無

(2) 在宅患者緊急入院診療加算の年間取得実績の有無／連携保険医療機関・以外別年間受け入れ件数

5-2 遠隔医療

Q1 遠隔在宅医療実施の有無／月間症例件数

Q2 遠隔医療(テレパソロジー(遠隔病理診断)、テレラジオロジー(遠隔放射線画像診断))導入の有無